



園だより



令和7年1月6日
秦野市立本町幼稚園
【HP版】

2学期には大きな行事がありました。子どもたちは思い切り体を動かしたり表現したりすることを楽しみながら、当日までの過程の中で様々な経験を積み重ねることができました。(一部紹介)

<楽しかったね！運動会>

年少組は、いろいろな動きを経験しよう意識した取り組みでした。忍者の修行ということで、走る動きの他に、バランスをとる・体を曲げてくぐる・ボールを打つ・的に向けて投げる・・・など、様々な動きがありました。“やらされている”のではなく、「おもしろそう」「やってみたい」と心が動いて、普段の遊びの中で毎日のように自分から何度も繰り返し楽しんでいました。

年長組は、クラスの友達と一緒にする楽しさや競う楽しさを経験していこうとする取り組みでした。勝つための作戦を立てる、そのために友達の様子をよく見たり、自分も「やりたい」と主張したりすることも。互いの主張から、どうすれば目的を達成できるのか折り合いをつけることを経験します。また、どうすればカッコ良く踊れるのか考えたり、友達の普段からの頑張りを感じたり・・・このようなことが積み重なって、友達との運動会を頑張れたり、応援したりして楽しむことができるのです。さらに、年長になると基本的な走る・投げるといった動きにプラスして、より質的な要素も加わります。力をコントロールしながら動く、思いきり走る、的(かご)を狙って投げるなどです。



<“ごっこ遊び” あれこれ・・・そして発表会>

ままごとやお店やさんごっこ、ヒーローごっこ、動物ごっこ、などなど。子どもたちはごっこ遊びが大好きです。自分が夢中になっていることから、近くにいる子と言葉を交わし、同じことをする楽しさを感じ始めます。遊びによっては役を決めて、役に合った言葉づかいをすることも。役になって遊ぶことが面白くなると、お話ごっこ(劇遊び)にも興味が湧いてきます。

年少組は、「自分の役になりきって表現遊びを楽しむ」というねらいのもと、発表会を行いました。年長組は、年少の時の経験を踏まえ、より役になれるように、より本物のように、そして言葉は・・・、動きは・・・など、みんなでいろいろと考えているようです。



遊びでは、こんな場面が見られました。

年長児



北園庭の泥場で、土集めをしていました。砂場の砂では、やりたい遊びには不向きなようで、この土が適しているとわかったようです。更にふるいでサラサラにして。目的の実現のためにどんなものが必要になるのか、仲間との気持ちが揃っていることで、より意欲的に取り組んでいるようです。

年少児と年長児



年少と年長で同じ遊びを楽しむ姿が見られました。鬼ごっこに興味をもっている年少児。年長児がしている“ケイドロ”の仲間に入って、遊びの場作りや鬼決めの方法を一緒に行います。そうして、遊びが引き継がれていくことを感じます。

